



特定医療法人社団

# 鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス  
<http://www.hovukai.org/>

第126号

発行:2016年10月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会

## 『愛される病院』を目指して

～ 看護の今、これからの看護に求められていること ～

湘南泉病院 看護部長 三澤 利重子



私が、湘南泉病院に入職したのは、平成11年6月でした。平成26年4月より看護部長を拝命させて頂きました。課題、困難も多々あるのですが皆様のお力をお借りして日々頑張っているところです。病院の状況は、私が入職した15年前からみて大きく変化してきています。これからも地域のニーズに応えるべく変化して行かなければならないことを実感するばかりです。歴代の看護部長の築かれた礎をしっかりと守っていかなければいけないと強い責任感を感じます。

超高齢化社会を迎え、病院を取り巻く環境は今後ますます厳しくなることが予想されます。団塊世代が75歳となる2025年が一つの目安として示されていますが、長期的な視野に立てば、さらにそれ以降の医療の将来像を捉えることが求められてきます。少子高齢化社会の中で、これからの医療提供体制においてチーム医療をどう推進していくか、医療職の中で最も多い看護師はどのような役割を担っていくべきか、社会のニーズに応えるためにどうすべきか。住み慣れた地域で暮らし続けて支えるためには何が必要なのか考えていく必要があります。当院においては地域包括病床15床が開設しています。地域包括ケア病床の役割は、急性期医療よりも年齢が上がるにつれて生活維持や在宅復帰のために必要に応じて治療やリハビリを行うような、必ずしも治癒を目指すわけではない医療の比率が高まります。このような医療の担い手としての役割のある病床編成です。これからは、「治す医療」から「支える医

療」へ、そして「病院完結型」から「地域完結型」への転換によって、住み慣れた場所で必要な時に、必要な医療、看護を受け、最後を迎える社会の実現が求められてきているのだと思います。最近では自宅からの入院患者が少しずつ増加傾向です。在宅からの急性増悪に対し

1. 認知症対策チームの早期からの関与
2. 廃用症候群予防の早期からのリハ関与
3. 栄養サポートチームの活動などチーム医療を推進しています。

当院においてもチーム医療で活動中です。よりチームでの活動が発展していくには「看護のちから」の発揮が必要です。看護部がその中心で輝いていける職場環境を目指しています。これからは今以上に認知症が進まない、寝たきりにならないことが高く評価されてきます。日々、現況を見極め、問題点を洗い出し、患者を中心に考え、問題解決のためにすべきことを病院一丸となって取り組んでいけるように、組織横断的な関わりを大事にしていきます。他職種、自部署との連携を強化し看護部長としての役割を発揮していきたいと思っております。目指していくのは、「マグネットホスピタル」です。マグネットホスピタルとは、患者、医師、看護師を磁石のようにひきつけて放さない、魅力ある病院です。

「皆様から愛される病院を目指します。」これからも変わらず皆様の力を貸してください。よろしくお願いいたします。

# マンモグラフィ装置導入

当法人の湘南泉病院で、富士フイルム製デジタルマンモグラフィシステム『AMULET S』を平成28年4月に導入しました。

最高画質の画像を提供する富士フイルム開発FPD（フラットパネルディテクタ）を搭載し、検査時の操作性と安心感が向上し、やさしく快適なマンモグラフィ検査を行うことができます。

湘南泉病院は、平成28年10月より横浜市の乳がん検診実施機関として登録されています。



【マンモグラフィ】



【操作室】

## マンモグラフィ検査とは

マンモグラフィは乳房を圧迫しX線撮影を行う検査で、乳がんをはじめ乳房にできる病気をほとんど見つけることができ、しこりとして触れないごく早期の乳がんも発見できます。

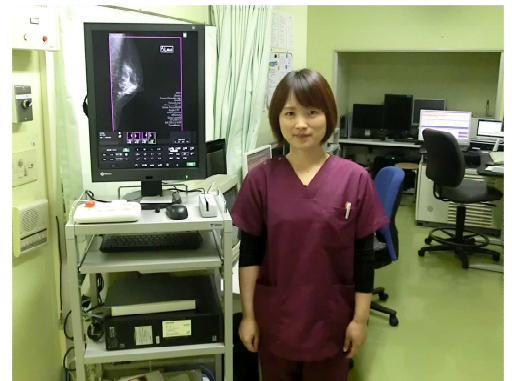
撮影はプラスチック板で乳房をできるだけ均等に圧迫し、上下、斜め方向の角度から撮影します。乳房を圧迫するときには、多少の痛みをとまいます。（痛みを感じる程度は人によって異なります）

マンモグラフィ検査は乳房を圧迫している時間は数秒程度で、検査自体も15分程度で終了します。

## 日本女性に増え続ける乳がん

乳がんは、がんのなかでも日本女性がかかる割合（罹患率）がトップであり、その罹患率は増加の一途をたどっています。生涯のうちに乳がんになる女性の割合は、50年前は50人に1人でしたが、現在は14人に1人とされており、年間6万人以上が乳がんと診断されています。また、乳がんで死亡する女性の割合も年々増加の傾向にあり、年間約1万3,000人が亡くなっています。

乳がん検診を受けた事のない方は、一度乳がん検診を受けてみましょう。乳がん検診を受けたことのある方は、定期的な乳がん検診を受けましょう。



『検診マンモグラフィ撮影認定技師の私が担当します！』

## ◆◆◆ 第18回 日本褥瘡学会学術集会 ◆◆◆

パシフィコ横浜を会場に開催された第18回 日本褥瘡学会学術集会において、湘南泉病院の褥瘡対策委員：日向 功（当院リハビリテーション科）・川上 民裕（聖マリアンナ医科大学皮膚科 准教授）・高木 恵美子（当院看護部）が『当院でのマットレスの比較検討からみえてきた褥瘡の予防や治療への関連』というタイトルで研究発表を行いました。後日、学会本部から本内容を論文化する要請がきました。



右から、日向理学療法士、川上皮膚科医、高木看護科長